

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県・姫路市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	姫路市文化遺産活用事業	【計画の改善時期】 平成31年度	
4 実施計画期間	平成 31 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>姫路市では、姫路市総合計画第4次計画（平成30年度～32年度）の中で、『風格と活力ある歴史文化・産業都市』を基本目標とし、『歴史文化の継承と市民文化の醸成』を掲げ、その具体的な施策として、歴史文化資源の保存・継承の活用の中で、地域に伝わる伝統文化の継承と活用を図ることになっている。本計画では、昔から伝承している姫路城周辺の姫路町の祭礼行事を活用した普及啓発事業『姫路町の祭礼文化』事業を展開し、歴史文化都市姫路のイメージアップを図り、町の賑わいを創出する。</p>			
6 実施体制			
<p>姫路市の担当課・・・教育委員会文化財課（企画・調整・指導） 補助事業の団体・・・姫路歴史文化遺産活用事業実行委員会（委員長 大樹孝啓） 構成団体・・・播磨国総社一ツ山大祭・三ツ山大祭保存会</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 93,730 千円	平成31年度申請額： 2,231 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>市民の歴史文化に対する意識を高め、姫路町の地域力や人々のコミュニティーを強くさせることになる。そして、姫路城と共に発展した姫路町の伝統文化を広くPRすることができるため、祭礼等の氏子の参加者や観覧者が増加する効果がある。また、そのことが歴史文化都市姫路をPRすることができ、姫路城の入館者が減少している中において、リピーターを増やすことになり、結果として本市の観光産業が発展し経済効果が上がるものとする。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	姫路ケーブルテレビ、サンテレビ（近畿地方）の放映により、市内外に姫路の歴史文化をPRする。		
事業概要：			
事業概要：			
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
本市は、平成23年度に『姫路市歴史文化基本構想』を策定			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	姫路市教育委員会 生涯学習部 文化財課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化				
評価指標区分 1 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 1 :	播磨国総社の祭礼行事の参加者数	関連事業:			
目標値 1 :	【現状値】 平成 31 年度 600 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 650 人				
設定根拠 1 :	播磨国総社の年間祭礼資料				
進捗状況 1 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率				
平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	602 人	人	人	人	人
	4%				

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	姫路町の祭礼文化			実施団体：	播磨国総社一ツ山大祭・三ツ山大祭保存会		
事業区分：	普及啓発			事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 33 年度		
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> ・謡囃子の講習を行い、姫路町での練歩きを行う。 ・造り物を展示し、祭礼の古写真を展示する。 						
評価指標区分：	・その他				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	播磨国総社の祭礼行事の参加者数						
目標値：	【現状値】 平成 31 年度 600 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 650 人						
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率						
平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
人	602 人	人	人	人	人		
	4%						